

まちの「今」をお届けします

患者の安全確保を図る

市民病院で自衛消防訓練

12月18日、市民病院で自衛消防訓練を行いました。市民病院では毎年2回、この訓練を実施しています。今回は、地震発生に伴い8階で火災が発生するという想定で行われ、小野田消防署の消防隊も訓練に参加。8階に残された患者を、はしご車で救助する手順を確認しました。

また、落下物等から自分の身を守るシェイクアウト訓練、消防機関へ迅速かつ正確に連絡する通報訓練、消火器による初期消火訓練を実施。患者役の職員を妊婦や歩行困難者等の症状別に分け、車いす等を使って避難場所の駐車場まで誘導する避難訓練もあわせて実施しました。

市民病院では、今後も患者の安全確保に努め、消防機関との連携を密にするとともに、あらゆる事態を想定した対応力を強化していきます。



避難訓練



はしご車による救助訓練



全日本オートレース選手会山陽支部 サポート寄附で市を支援

12月26日、山陽オートレース場で、(一社)全日本オートレース選手会山陽支部の岡本信一副支部長から、所属選手60人分130万円のサポート寄附(ふるさと納税)をいただきました。平成20年度から毎年寄附をいただき、今回で11回目。岡本副支部長は「選手一同で市を盛り上げたい」と述べて、市長に目録を手渡しました。



鹿島アントラーズ少年サッカー教室 小学生がプロの技術を学ぶ

12月29日、県立おのだサッカー交流公園で行われ、小学5・6年生約130人が参加。昨年のJリーグベストヤングプレーヤー賞を受賞した安部裕葵選手(写真中央)をはじめ、町田浩樹選手、沖悠哉選手の3人と一緒に汗を流し、交流しました。未来のプロサッカー選手を目指して、みんながんばってね。